

お待たせしました！再演希望の一番多いスーパー二胡奏者・許可(シュイ・クウ)さん、3年ぶりの出演です！今回は若手ハープ奏者の第一人者、景山梨乃さんとの共演です。二胡とハープは思いのほか相性が良く、お二人はこれまで度々共演してきました。今回のために特別に編曲されたおなじみの名曲を、どのように聴かせてくれるのか、本当に楽しみです。席に限りがございますので、お早めのお申し込みをお願いいたします。



【プロフィール】

許可 (シュイ・クウ)：二胡



中国・南京生まれ。1982年、国立中央音楽学院卒業、翌年、国立中央民族楽団の首席二胡奏者(コンサートマスター)に就任するなど早くから第一線で活躍、クラシックやジャズの奏法も研究し、楽器に独自の改良を加えるなど、二胡の可能性を飛躍的に広げた二胡演奏の第一人者。ジャンルを超えた世界的アーティストとしての地位を確立している。2008年ベルリン・フィルハーモニー主催の室内楽シリーズで、ベルリン・フィル弦楽五重奏団と共演、同五重奏団の日本公演にもソリストとして参加。2011年、北京と上海にて、ベルリン・フィル弦楽五重奏団と再度共演。ベルリン・フィル音楽監督のサイモン・ラトル氏にも絶賛される。2012年より上海ジャズ・フェスティバルの音楽監督に就任、超絶技巧ヴァイオリンの鬼オロビー・ラカトッシュと共演。2014年、ベルリン・コンチェルトハウスにて、再びベルリン・フィル弦楽五重奏団をバックに「シルクロード音楽の旅」をテーマに、ドイツで初の二胡リサイタルを行う。12月にはベルリン放送交響楽団と二胡では世界初のレコーディングを行い、同楽団とドイツ放送局から全面的な支援を受けて発売したCD『許可/二胡&ベルリン放送交響楽団〜超絶技巧(ツイゴイネルワイゼン)』は全ドイツへ向けて放送されている。2016年2月、東急文化村オーチャードホールにて、テレビ朝日主催「徹子の部屋」クラシック・コンサートにソリストとして東フィルと共演。5月、銀座ヤマハホールにて、ベルリン・フィル弦楽五重奏団との共演。9月には、ベルリン・フィル主催により、8年ぶりにベルリン・フィルホールにて、ランチコンサートを成功させた。すでに31枚を超えるCD(クリスタルディスク一枚含む)や2枚のDVDをリリース。国内では東京・名古屋・大阪にて許可二胡塾を開校し、指導者としても多忙を極めている。現在、日本と欧米を中心に活躍しながら、中国国立中央音楽学院客員教授、上海音楽学院客員教授も務め、2014年8月より、中国以外の世界の大学で初めて二胡専攻科を設けた洗足学園音楽大学の客員教授も務めている。

景山梨乃：ハープ



8歳よりハープを始める。2000年日本ハープコンクールジュニア部門第1位。2006年同コンクールアドヴァンス部門第1位、2008年リリーラスキーヌ国際ハープコンクールシニア部門最高位(1位なしの2位)併せて特別賞受賞、2010年オランダ国際ハープコンクール第2位、同年USA国際ハープコンクール第2位併せてグリエール賞(最優秀コンチェルト演奏賞)を受賞、2016年ミュンヘンARD国際音楽コンクールで第3位など、多数受賞。2018年新日鉄住金音楽賞フレッシュアーティスト賞(現・日本製鉄音楽賞)受賞。テレビ朝日『題名のない音楽会』、NHK・FM『リサイタルノヴァ』、『ベストオブクラシック』等に出演。東京藝術大学内にて福島賞、平山郁夫文化芸術賞を受賞。2011年、パリエコールノルマル音楽院最高ディプロムを審査員満場一致と特別評価を受け取得。その後ベルリン芸術大学で学び、同時にベルリンフィル・カラヤンアカデミー修了。2013、2014年度(財)ロームミュージックファンデーション奨学生。これまでに渡辺かや、篠崎史子、早川りさこ、松井久子、イザベル・ペラン、マリー=ピエール・ラングラメ各氏に師事。現在愛知県立芸術大学非常勤講師。2014年から2023年まで東京交響楽団首席ハープ奏者を務め、2023年4月より読売日本交響楽団契約団員。